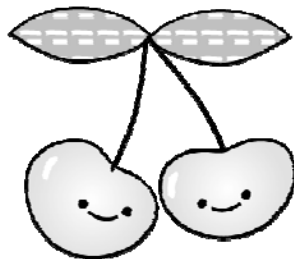


チューターのしごと

—学生支援マニュアルダイジェスト版—



学生と大学をつなぎ

充実した学生生活を支援するために

対応のポイントをまとめました。

2011年3月

公立大学法人山口県立大学 学生委員会

チューターになったら…

チューターは学生にとって困ったときにアクセスする最初の教員であり、その学生について問い合わせが来る最初の教員でもあります。



1. ホットラインを確保しましょう

- まず、はじめに学生と電話番号、メールアドレスを交換し、いつでも連絡が取れるようにしておきましょう。
- 学生は番号が未登録の電話には出ないことがありますから、予め番号を登録してもらいましょう。
- PCからのメールも同様です。一度メールを交換しておきましょう。

2. 話をしっかり聴きましょう

- 学生が自分で来た場合には何に困っているのかを**注意深く**聴いて確認しましょう（聴いてもらうだけで楽になることも多々あります）。
- 教員側で気になる学生がいれば、チャンスを見つけて声をかけてみましょう。声をかけた理由を率直に伝えた方が学生も答えやすいものです。

例えば…



「表情が優れないように感じたけれど、周りのみんなどうまくいってる？」

「最近、授業を休みがちだけれど、何か具合の悪いところがあるの？」

3. 情報提供や助言をしましょう

- チューター自身で助言できるレベルならば、具体的に助言しましょう。
 - ☞ 情報提供やチューターとしての考えを伝えても、決定するのは学生自身であることを心にとめておきます。
- チューターのみでは対応が難しいと思ったら、他の相談先につなぎましょう。

「学生支援部の〇〇に行ってください。」

「学生相談室のカウンセラーを紹介するから、話してみない？」

例えば…



- ☞ 場合によっては相談先に連絡したり、一緒について行くことも良いでしょう。

4. 他の相談先との連携をしましょう

- 学生の問題をチューター1人で抱え込まないようにしましょう。
学生の相談を聴いた後にチューター自身が保健室や学生相談室、学科長などに相談することも有益です。
- チューターが他の相談先につないだ後でも、気になる場合は連絡してみましょう。



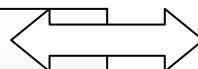
- 学生のプライバシーを尊重しながら連携しましょう。相談内容を不用意にしゃべったりすることは避けましょう。

チューターがおもにおこなうこと

相談・連携先

1. 修学に関すること

履修の登録や中止についての相談
履修状況や成績に関する指導
休学、退学の相談



教務入試グループ

(5637)

2. 学生生活に関すること

日常生活、課外活動、事件や事故、
奨学金の申請、経済的な問題



生活支援グループ

(5647)

3. 進路や就職に関すること

就職、進学に関する相談
推薦書の作成 (本学 HP からダウンロード)



キャリアサポート

センター

(4790)

4. 健康相談に関すること

身体の健康に関する心配事、
メンタルケアに関すること



健康サポートセンター

保健室 (5648)

学生相談室 (4705)

5. 緊急事態の対応

災害や緊急時にメールなどで連絡する。



学科長、学部長

学生支援部

6. その他

人権侵害、ハラスメントに関する相談



アンチハラスメント

相談員

